



市長に対し新庁舎への想いを語る



市長へ提言書を提出



子供にも身近な庁舎に



免震構造で安全安心な庁舎に



シンプルで緑と調和する建物に



働きやすい庁舎に



誰もが使いやすい庁舎に

市長へ提言書が提出されました！



2013年8月に公募市民17名、近隣自治会代表者8名の計25名で構成された市民検討協議会が設置されてから約5か月に渡り全7回が開催され、新庁舎に必要な機能など庁舎建設に関わる検討を行いました。市民検討協議会の中で出された意見は提言書としてまとめられ、本年1月24日に代表者から市長へ提出されました。

提言書の中では、市民に親しまれる庁舎、府中らしい庁舎、まちづくりの拠点となる庁舎といった3つの考え方にに基づき、ユニバーサルデザイン、防災拠点、災害対策機能、窓口機能といった新庁舎に必要な機能に関する提言が示されています。

職員検討会の報告書がまとめられました！



府中市の職員35名で構成された職員検討会は、現庁舎の課題や新庁舎に必要な機能など庁舎建設に関する意見をまとめるため全8回に渡り議論を重ねてきました。職員検討会で意見を交わすことにより、庁舎建設をテーマとした職員同士のコミュニケーションの活性化につながりました。その中で出された意見は項目ごとにまとめられ、報告書として提出されています。

報告書の中では、市民にとって使いやすく職員にとって働きやすい市民サービスの向上が図られる庁舎を目指すため、市民と職員が有意義な意見交換を行うなど、市民と行政との協働を支えるために必要な機能や執務環境の整備など、庁舎建設後の職員の意識のあり方について意見がまとめられています。

市民検討協議会と職員検討会のかかわりについて

市民検討協議会と職員検討会では、それぞれのテーマに対する意見を相互に紹介しディスカッションを行うことで、市民と行政との協働という観点からも意義ある議論がなされ、連携を図りました。両者の共通した意見としては、ユニバーサルデザインの必要性や災害時に配慮した計画、市民が分かりやすい窓口機能の整備などがありました。

基本計画策定に向けた今後の進め方について

庁舎建設基本計画は、庁舎建設基本構想（平成23年策定）を継承し、この度提出された提言書や報告書並びに市議会、関係団体などのご意見を参考に策定を進め、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」の実現を目指していきます。

これらの取組は引き続き、市のホームページや庁舎建設ふちゅうかわら版などを通して多くの市民へお知らせしていきます。



将来を見据えた計画に



維持保全費用を低減する設計に



提言書内容の確認



職員の意識改革も必要



報告書内容の確認